

平成 2 1 年度当初予算 施策別概要

4 1 3 水環境の保全

(主担当部 : 環境森林部)

- 41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進(環境森林部)
- 41302 生活排水対策の推進 (環境森林部)
- 41303 伊勢湾の再生 (環境森林部)
- 41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進 (環境森林部)

< 施策の目的 >

(対象) 河川・海域が

(意図) 水遊びができる水質に維持または改善されている。

< 施策の数値目標 > 20 年度実績は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
水浴びや水遊びができる水質 (BOD 2 mg/L 以下) の河川の割合	目標値	-	87%	90%	91%	93%
	実績値	81% (H14 ~ H18 年度)	87%			

県内の河川水域 (H19 年度末現在 62 水域) のうち、河川の水質が水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または改善されている (生物化学的酸素要求量 (BOD) 2 mg/L 以下) 水域の割合 (三重県公共用水域水質測定結果)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
生活排水処理施設の整備率	目標値	-	73%	74%	75.2%	76.5%
	実績値	71.5%	73.3%			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 河川の水質については改善傾向にあるものの、海域の水質は横ばい状態であり、公共用水域の水質保全・改善のため、汚濁負荷の一層の削減が必要です。水質汚濁の主な要因である生活排水の対策については、地域の実情に応じた生活排水処理施設の整備を一層進める必要があります。工場・事業場の環境対策については、コンプライアンス意識の不徹底がみられ、意識の向上をはかる必要があります。
- ・ 閉鎖性水域である伊勢湾については、水質総量規制において、工場・事業場等の排水の化学的酸素要求量 (COD)、窒素およびりん等の削減に努めてきましたが、環境基準の達成率が低く、現在は基準を強化した第 6 次伊勢湾水質総量規制に基づき水質の保全・改善に取り組んでいます。また、伊勢湾再生に向けては、三重県における対策の強化に加え、県境を越えた広域での取組を進めることが必要です。

< 平成 2 1 年度取組方向 >

河川・海域等の水質常時監視を実施するとともに、工場・事業場への立入検査・指導により、コンプライアンス意識の徹底を促すと同時に汚濁物質の削減に努め、公共用水域の水質保全・改善をはかります。

生活排水対策については、2006 年 (平成 18 年) に改定した「三重県生活排水処理施設整備計画 (生活排水処理アクションプログラム)」に基づき、それぞれの地域の実情にあった生活排水処理施設の整備を進めるとともに、浄化槽のより効果的・効率的な設置促進をはかるため補助制度を見直します。

伊勢湾の水質改善については、第6次伊勢湾水質総量規制に基づき工場等の排水のCOD、窒素、リンの総量削減など水質の保全・改善に向けた取組を進めます。

また、伊勢湾の再生に向け、国を含めた関係自治体等で策定した「伊勢湾再生行動計画（2006年度（平成18年度））」を着実に推進するため、多様な主体と連携して取り組んでいくとともに、「伊勢湾再生推進会議」においてフォローアップしていきます。

水環境の保全のため、植物を利用して有害金属に汚染された土壌を浄化する方法の開発や、問題発生時に迅速に対応できる分析方法の開発の研究に取り組みます。

環境危機発生時に迅速・的確に対応するため、工場、事業場排水および土壌・水環境の検査や調査を行います。

閉鎖性海域を対象として、負荷量の削減と同時に、養殖業等の経済活動を行いつつ、海域の自然浄化機能を増進・活用することによって、新たな環境を創生するための技術開発を行います。

<主な事業>

河川等公共用水域水質監視費【基本事業名：41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(20) 42,230千円 (21) 40,343千円

事業概要：公共用水域および地下水の水質監視を実施します。また、伊勢湾に流入する汚濁負荷量の削減のため総量規制を実施するとともに、伊勢湾の水質・底質の調査を行います。
（常時監視 49河川、4海域予定）

（一部舞）浄化槽設置促進事業【基本事業名：41302 生活排水対策の推進、41303 伊勢湾の再生】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(20) 547,249千円 (21) 470,332千円

〔	内訳	通常分	(20)	124,332千円	(21)	77,133千円
	舞台づくり	(20)	422,917千円	(21)	393,199千円	

事業概要：快適な水環境の確保、水環境の改善をはかるため、浄化槽について設置者に補助を行う市町および浄化槽を設置し維持管理を行う市町に対し助成を行い、浄化槽の普及を促進します。
（整備基数 通常分 523基、舞台づくり3,110基予定）

（舞）伊勢湾行動計画推進事業【基本事業名：41303 伊勢湾の再生】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(20) 2,893千円 (21) 2,783千円

事業概要：国と三県一市等で組織する「伊勢湾再生推進会議」において策定した「伊勢湾再生行動計画」を着実に推進するため、大学等の研究機関など多様な主体との連携により、調査・研究や普及啓発等に取り組みます。

（舞）閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けた調査・技術開発事業

【基本事業名：41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進】

（第6款 農林水産事業費 第5項 水産業費 10水産業試験研究費）

予算額：(20) 18,097千円 (21) 15,203千円

事業概要：閉鎖性海域における生態系の回復を促進するため、干潟・藻場の回復再生技術や赤潮の発生防止技術の開発および底泥の堆積過程の解明等について、産学官の連携により取り組みます。（調査海域：英虞湾 調査内容：沿岸遊休地の干潟への再生技術の開発、赤潮プランクトンを死滅させるウィルスの室内感染実験や海域での分布調査、陸からの流入物質と植物プランクトンの増減、底泥の堆積課程との関連解析など）